



動物はいつごろからいるの、どうやって生まれたの

7億年前ごろ現れた

今から35億年前ごろ、最初の生き物であるバクテリアのようなものが生まれ、これが長い長い時間をかけて進化し、7億年前ごろまでに、ゾウリムシやアメーバのような、動き回って自分でえさをとる原生動物が現れました。これが最初の動物といえます。それから、どんな順に、どのような生物が現れたか見ていってみましょう

- ・6億年前にはミズやゴカイの仲間や、クモやカニの仲間などが現れました。
- ・5億年前には、クラゲやサンゴ、タコやイカ、カイなどの仲間が現れました。
- ・4億5000万年前ごろには、魚の仲間が登場しました。
- ・4億年前ごろにはカエルやサンショウウオなど両生類の仲間が現れました。
- ・3億3000万年前ぐらいには、ヘビやトカゲ、ワニなどの、は虫類が現れました。
- ・2億年前ごろには恐竜の時代が出現しました。

ほ乳動物が現れたのは2億2000万年前

お乳で子どもを育てるほ乳類が現れたのは、2億2000万年前ごろ、鳥類が現れたのは、2億年前ごろです。しかし、ほ乳類の仲間が急にいろいろふえたのは6500万年前ごろです。このころは気候の変化が激しく、変温動物の恐竜などはほろびてしまいました。寒さにも強い毛皮があり、体の動きが速く、体温も一定している、ほ乳類が生きのびたのです。

原始地球の海の中で、生き物が生まれた

地球は、今から46億年前ごろできたといわれています。それから10億年後ぐらいに、海の中に最初の生き物が生まれたと考えられています。宇宙から生き物が、いん石などにくっついて飛んできたと考えられている学者もいます。(監修・今泉 忠明)

